

令和4年度

# 小・中学生フォーラム in 愛日小学校



新宿区では、毎年、小・中学生と区長が意見を交換する「小・中学生フォーラム」を開催しています。このフォーラムは、子どもたちの意見を区の施策の参考にするとともに、子ども自身が新宿のまちに関心と愛着を持ち、区政に積極的に参加することを目的とするものです。

10月14日（金）、愛日小学校（北町26、校長：佐藤郁子）の5年1組37名、2組38名が、「災害に強い街づくり～今、私たちにできること～」をテーマに、吉住健一区長と意見交換をしました。

上記のテーマのもと、児童たちは、事前学習と学区内のフィールドワークを踏まえて、街の中にどのような危険な場所があるか、災害に強い街にするにはどうすればいいのかについて、班ごとに分かれてパワーポイントにまとめ、発表しました。発表では、災害に強い街にするために必要なこととして、「危険な場所の情報共有をする」「地震に強い建物を増やす」「バリアフリー化を進めて避難しやすくする」「避難訓練などに参加して防災の意識を高める」といった提案がありました。

その後、区長と児童たちが意見交換を行いました。児童から区長へ「区長自身は家でどのような防災の取組みをしているか」「災害が起きた時の外国人への対応はどのようにするのか」等の質問がありました。最後に区長から、全体の感想として「日頃から防災について考える、災害に備えて練習する、という考え方はとてもよいことだ。実際に街歩きをすることで、細かいところまで気がつくことができていた。」と話がありました。

児童たちは、フィールドワークで撮影した写真などを活用して、自分たちの住む街の危険な場所について具体的に挙げながら発表していました。授業での学習の内容を身の周りの環境とつなげて考える良い機会となり、実りあるフォーラムとなりました。

